

TOYOTA SL-KART MEETING FESTIKA Rd.2

YAMAHA スーパーSS (参加 11 台)

Festika Circuit



フレーム : birel RY30-S3
 エンジン : YAMAHA KT100SD
 タイヤ : プリチストン SL07
 エンジンア: 加藤 真 (レ-ジツガ-ピスィエガ-ラ)
 メカニック: 立木 保 (チ-ムィエフエガ-ラ)

今大会に向けての課題

新型ビレルでの初レースに向けまずは自分に合うセットを見つけ出すこと。それに合う走り方をマスターすること。自分の持っている他のパーツとのマッチングを検証し、使えるかどうかの確認。以上を自分なりにクリアして臨む・・・

レースレポート

前日練習では車の仕上がりエンジン2基の仕上がりをチェック。予想以上のグリップ感を感じるが、垂れて前に出ない現象は出ていなかったので手ごたえを感じ、調整を終える。

公式練習

前日の夜から雨。公式練習まで路面はセミウエット状態。T.Tまでにはドライコンディションになると予想しセットはドライのまま臨む。苦手な路面なのもあるがフロントのグリップ感が無い。車の動きを感じながらゆっくりと入り皮むきに徹し、アタックは一周のみで終了。フロントのグリップさえ上がれば行ける事を確認し終了。

今回も残念ながら鴨シーは出場していないので鴨シー観察レポートはお休みです・・・

タイムトライアル

予想通り路面はドライ。早めにタイムを出したい所だが集団にひっかかりなかなかタイムも上がらず7周目でベストタイムが出るが、クリアアタックは一周のみと自分の中では余力を残し? P.P ゲット! タモさんとの相談でセットの微調整もうまく決まり手ごたえを感じ終了。

今回は前回大活躍のハマコーと新加入?のひよろりん両先輩?が応援に来てくれたので良い所を見せたいところ・・・

予選ヒート

霧雨が降ったり止んだりでいやなコンディション。トニー勢も良い仕上がりを見せているので気合を入れスタート。しかしスタートも決まり気を抜いた5コーナーで迫選手に刺され先輩とも一瞬バトルモードに、その後差し返したい所だが、コース上は月様ミサイルにより撃沈されたカートが点々・・・イエローが暫く続き身動きがとれず(汗)。最終ラップ、ブロックラインのそのインを突くが、スリッピーなラインであわやスピン?偶然にクロスラインに頭が向きクロスラインブロックを・・・もう一度やれといっても出来ない究極のコーナーリングでした(笑)そのままトップでチェッカー。

プレファイナル

路面も完全ドライになりタイムも安定する。気を抜かず走りきりそのままチェッカー。決勝 P.P を獲得

決勝ヒート

前のクラスが終わったところから霧雨が降り出す。車はそのままなので不安を抱えてスタート。前半は逃げに徹するが中盤からグリップも低下し始める。霧雨の量も少しずつ多くなり、後続との間隔を見ながら慎重に周回を重ね、ビレルではいつ勝ったか忘れたほどの久々の優勝!開幕二連勝をゲット!

レースを終えて

今回はビレルで勝ちたいという思いが強かったので自分自身を追い込み、監督にも面倒かけました。ありがとうございました。結果的に勝つ事が出来今はほっとしています。今回は詰めれば詰めるほどビレルの良さを感じました。これからも自分自身の課題に向けもうひと頑張りします。前日から専属メカをしてくれたタモさん、完璧なメカありがとうございました。

◆レース結果

T.T 1位 (32.904)
 予選 1位 (33.171)
 プレファイナル1位 (32.749)
 決勝 1位 (32.953)

◆ 2011 年度

シリーズランキング

1位 (40ポイント)
 (Rd.2 終了時点)

